

# つ 世 人 け 宮 都 宇

【題字】 宇都宮市長 佐藤栄一 様

CONSTRUCTION

vol. **303**

**2015**



『首里城 守礼門』

亀和田辰紀 様 写真提供



一般社団法人 宇都宮建設業協会



## 新年度に向けて

一般社団法人 宇都宮建設業協会  
会長 増 渕 薫

現在の日本経済は、第二次安倍内閣によるアベノミクス効果もあって、雇用や所得環境が改善するなど景気は少なからず回復傾向にあると言われております。しかし、アベノミクスによる景気浮揚効果も地方にとっては実感に乏しく、とりわけ建設業界は長年にわたる公共事業費の大幅な削減に伴う受注量の減少に加えて、人手不足や資機材の高騰等と相俟って厳しい経営環境にあります。

こうした状況下で、5月14日に開催した一般社団法人宇都宮建設業協会平成27年度通常総会において、平成27年度の事業計画（案）並びに収支予算（案）が満場一致で承認されたところであります。今年度は、公益目的事業の7継続事業を含めて10事業を掲げ、地域社会における基幹産業として工事現場での事故防止対策をはじめ、災害対策や地域の環境美化等の社会貢献事業に発注関係機関と連携しながら引き続き取り組んでいくことにしております。

また、事業協同組合であります。当組合では栃木県や宇都宮市の維持管理業務を共同受注し、行政の補完機能としての役割を担っております。引き続き、今年度においても各共同事業を通じて受注機会の拡大に向けた活動を展開するとともに、確実に実績を積み上げ、行政をはじめ地域住民に信頼される

よう努めてまいりたいと考えております。

先述のとおり、日本経済が一進一退を続ける中、地方の建設業界は依然として厳しい経営状況にありますが、国において「防災・減災等に資する国土強靱化基本法」の制定に続き、品確法、入契法、建設業法のいわゆる「担い手三法」が改正され、将来を見据えた担い手対策や受注者の適正な利潤の確保等が明記されたところであります。

この改正は、業界の将来を見据えた大きな環境の変化と考えており、適正な利潤が企業の将来とつながり、ひいては継続的な担い手確保・育成できる好循環を形成していくことにつながるものと考えております。

今後、「担い手三法」の適正な運用に向けて、あらゆる機会を捉えて発注関係機関等へ発信していくとともに、地域社会における基幹産業として、社会資本の整備はもとより異常気象時の対応や社会貢献活動等、地域に根差した事業活動を展開しながら、会員企業の健全な経営基盤を築くための各種事業に積極的に取り組んでまいり所存でありますので、会員各位の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、挨拶といたします。



# 平成27年度 通常総会

2015.5.14<sup>木</sup>

## 〔官と連携し地域貢献〕

一般社団法人宇都宮建設業協会（増淵薫会長）は5月14日、平成27年度通常総会を開催した。

総会冒頭、増淵会長は「日本の景気は回復傾向にあり、建設業にも明るい兆しが見えてきている。しかし、長年にわたる公共工事費の削減などにより、建設業界の経営環境はいまだ厳しい。昨年度、担い手三法が改正され、今年度施行されたが今後は発注者の理解が重要になってくる。建設業界を取り巻く環境はいまだ厳しいが、会員が一丸となって各種事業を推進していく」と挨拶。その後、前会長

である木澤喜人氏の功績に対して、感謝状を贈呈し、また永年勤続の役員・委員に対し表彰を行った。

議事では、27年度事業計画・収支予算案を原案どおり承認し、①建設業の技術の向上及び経営の改善に関する研修会の開催 ②災害時の緊急対応等住民支援活動 ③地域環境美化活動 ④地域住民の安全確保のために行う建設工事現場安全パトロールの実施一などの10事業を推進していくことを決定。26年度事業経過・収支決算報告も原案どおり承認した。（関）

## 感謝状



前会長 木澤喜人氏（日豊工業株式会社）

## 永年勤続表彰

### 受賞者

|           |    |              |
|-----------|----|--------------|
| 永年勤続役員15年 | 増淵 | 薫氏《㈱暁工務店》    |
| 永年勤続委員25年 | 轟  | 久敬氏《日豊工業㈱》   |
| 永年勤続委員15年 | 荒井 | 学氏《宇都宮土建工業㈱》 |
|           | 手塚 | 誠氏《㈱テツカ産業》   |
|           | 荒井 | 規雄氏《キョウセイ㈱》  |

おめでとうございます

## 新任挨拶



### ものづくり集団としての“実現力・組織力・創造力”

栃木県県土整備部長 印 南 洋 之

今年4月に県土整備部長に就任いたしました印南でございます。

宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より、本県の県土整備行政の推進につきまして、御理解と御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、県土整備部におきましては、「新とちぎ元気プラン」、「県土整備プラン」の最終年度として、県民の安全・安心を守るための「防災・減災対策」や、各種施設の「老朽化対策」等を着実に推進しております。

また、人口減少問題の克服に向けた「地方創生」への取組として、「連携・交流を支える広域ネットワーク整備」や、東京オリンピック・パラリンピック、国体を見据えた「総合スポーツゾーン整備」にも積極的に取り組んでいく必要があると考えております。

建設事業者の皆様は、これら取組の推進や災害時の緊急対応等において、欠かすことのできないパートナーであります。今後とも、建設事業者の皆様とともに、ものづくり集団としての“実現力・組織力・創造力”を十分に発揮し、県土整備行政を推進して参りますので、なお一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のさらなる御発展並びに会員の皆さまの御健勝と御繁栄を心から祈念申し上げまして、新任の挨拶とさせていただきます。



### 元気度No.1 宇都宮土木

栃木県宇都宮土木事務所長 齋 藤 守

この度の定期異動によりまして、宇都宮土木事務所長を拝命しました齋藤でございます。

17年ぶり、3度目の宇都宮土木事務所勤務となります。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は「新とちぎ元気プラン」の最終年度であり、各種施策の総仕上げを行う年であります。宇都宮土木事務所といたしましては、引き続き『県央地域の「安心」「成長」「環境」を担う、元気度No.1の宇都宮土木』を実現するため、県民ニーズを的確にとらえ、効率的・効果的な事業の執行に努めてまいります。

事業執行にあたりましては、事業の平準化を図るため、端境期の積極的な執行を予定しております。また、事業の基本方針として、通学路等の歩道整備や道路改良による交通安全対策、河川・砂防施設の整備による防災減災対策、既設インフラの耐震補強や長寿命化対策、幹線道路や地域高規格道路の整備による道路ネットワーク対策、都市計画道路の整備による中心市街地活性化対策等を実施してまいります。

さて、昨年6月16日の集中豪雨においては、宇都宮市陽東地区の道路冠水対応や、大曾地内の土砂災害対応等にご尽力いただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

建設事業者の皆様には、社会資本の整備保全や災害時の緊急対応につきまして、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



### ライフライン維持保全を官民協力体制で

栃木県下水道管理事務所長 島 田 源 一

この度の定期異動により下水道管理事務所長に着任いたしました島田でございます。

下水道は都市基盤として、快適な生活環境と美しい自然を守るために、ひと時も休止させてはならない施設であり、その責任の重さを感じているところです。

また、新たな取組みとして、消化ガス発電を鬼怒川上流、県央、巴波川の各浄化センターで昨年度末に売電を開始し、今年度は北那須浄化センターでも開始する等、環境にエコな下水道のイメージで皆様にPRさせて頂いております。

しかしながら、共用開始から30年以上経過し老朽化した施設もあり、昨年度は全浄化センターにおいて、次期長寿命化計画を策定し、順次中央監視装置等の交換を実施していく考えです。

また、頻発する地震や集中豪雨等の自然災害に対して、下水道管渠やポンプ場等のライフラインが被災するケースが増加しており、その復旧や維持保全は、建設事業者をはじめとする関係者の並々ならぬご努力により保たれています。

この様なことから欠くことの出来ないパートナーとして、二人三脚で頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。新任の挨拶とさせていただきます。

## 新任挨拶



### 憩いと潤いの場、そして元気を発信する公園づくり

栃木県公園事務所長 鈴木 伸一

このたびの定期異動によりまして、公園事務所長を拝命いたしました鈴木でございます。着任にあたりまして一言御挨拶申し上げます。

建設業を担う皆様方におかれましては、県民の安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備はもとより、日頃から道路河川等の公共施設の維持管理、ボランティア活動による環境美化活動、さらには異常気象時の点検、災害復旧に多大なる御尽力をいただきまして本当にありがとうございます。この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

さて、本事務所は、県東・県西・県南・県北そして県央に位置する9つの県営都市公園の改修・維持管理を担う職場です。

それぞれの公園は、地域の地形や地勢、そして自然環境と風土、文化を生かした特色ある公園として、地元はもとより県外から訪れる皆様に憩いと潤いを提供する場として、親しまれ愛され育てられています。昨年度は、約450万人の皆様に御利用いただき好評をいただいているところです。

一方で公園施設の老朽化が進んでいる状況にあることから、今年度も引き続き「栃木県公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的かつ有効的な維持修繕を行い安全で安心して快適に御利用いただけるよう努めて参るとともに、多種多様な各種イベント等の開催情報を全国に発信して、お子様から高齢者の方々まで多くの皆様に御利用いただけるよう、公園事務所職員が一丸となり取り組んで参る所存です。

さらに、宇都宮の総合運動公園においては、平成32年に開催される東京オリンピック・パラリンピックのトレーニングキャンプ地誘致、平成34年開催の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、総合スポーツゾーン整備が始まります。半世紀に一度あるかないかのビッグプロジェクトとなりますので、関係機関との綿密な連携のもと、公園事務所としての役割をしっかりと果たしていきたいと考えております。

今後とも、宇都宮建設業協会の皆様におかれましては、より一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げ、新任の御挨拶とさせていただきます。



### 「将来にわたり持続的に発展できるまち」のために

宇都宮市理財部長 高橋 利幸

この度、宇都宮市理財部長に就任いたしました高橋でございます。

宇都宮建設業協会会員の皆様には、日頃より本市の市政運営に格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、人口減少による地域経済社会への影響が懸念される中、国と地方が一体となり、長期的な戦略による地方創生へ向け、総合的な取り組みを始めているところであります。

本市におきましても、市民が幸せに暮らし、将来にわたり持続的に発展していくために、適切な都市基盤の形成など地域経済の活性化に取り組んでいるところであります。

これらの取り組みを計画的に進めていくために、今後とも自主的・自立的な行財政運営の基盤である市税等の適正・公平な賦課徴収を推進するとともに、入札契約制度につきましても、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の改正などのいわゆる「担い手三法」に対応しつつ、引き続き透明性・競争性・公正性を確保し、さらには、高品質な公共工事による社会資本整備が図れるよう、社会経済情勢に即応した、制度の適正化を推進してまいりたいと考えております。

結びになりますが、貴協会の益々の発展と会員の皆様の更なるご活躍をご祈念申し上げまして、就任のご挨拶といたします。



## 新任挨拶



### 「持続的に発展し続けるまちの実現に向けて」

宇都宮市都市整備部長 田 辺 義 博

この度、宇都宮市都市整備部長に就任しました田辺でございます。

宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より、本市のまちづくりに特段のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

都市整備部におきましては、「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成に向け、「地域特性に応じた土地利用の推進」や「魅力ある拠点の形成」「安全で快適な市街地の形成」などに取り組むことにより、市民の生活の質の向上を図りながら、都市の持続的な発展が可能となるよう機能的で魅力ある都市空間の形成を進めているところであります。

また、平成27年2月には、目指すべき将来イメージを明らかにするとともに、どのように進めていくのかを分かりやすく示す指針となる「ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン」を策定したことなどから、今年度は、ネットワーク型コンパクトシティの基軸であり東西軸の要となるLRT整備事業とともに、都市再生特別措置法に基づく「立地適正化計画」の策定、市街化調整区域の土地利用方針の策定など計画的な土地利用の推進や、大手地区市街地再開発事業や岡本駅橋上駅舎の整備など都市機能の集積による魅力ある拠点の形成、土地区画整理事業の完了に向けた工事を着実に実施するなど、持続的に発展し続けることのできるまちの実現に向けた都市整備を進めてまいりますことから、今後とも、貴協会のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会の益々の発展と会員の皆様のご活躍をご祈念申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。



### 将来にわたる品質と担い手の確保

宇都宮市検査室長 鈴 木 勝 雄

この度の定期異動によりまして検査室長に就任しました鈴木でございます。

宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より、本市のインフラ整備にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、建設業は防災・減災、耐震化、老朽化対策などの市民が安心して暮らせる街づくりに欠かせないインフラ整備の担い手として大変重要な役割を果たしております。しかしながら、長らく続きました建設投資の減少や受注競争の激化などによりまして厳しい経営環境にあり、技術者や技能労働者等が不足するなど人材育成・確保が課題となっております。

そのような中、昨年、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」などの建設関連3法の一部改正が行われ、発注者の責務として、適正な予定価格の設定、ダンピング受注の防止、計画的な発注や適切な工期設定、設計変更などが明記され、受注者の責務としては、技術者や技能労働者の育成・確保、賃金、安全衛生等の労働環境の改善などが求められております。

今後も、10年、20年の将来にわたって公共工事の品質を適正に確保していくには、発注者である市の改善に向けた取り組みと建設業界の中長期的な人材の育成・確保が必要とされております。これらの課題解決に向けて、これからも宇都宮市と建設業界は良きパートナーとして支えあう関係を維持・発展させていかなければなりませんので、今後とも、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様の益々のご活躍を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。

## REPORT

## 青年の会 活動報告

## 通常総会

2015.6.3 水

平成27年6月3日(水)、ホテルニューイタヤにおいて宇都宮建設業青年の会の平成27年度通常総会が開かれた。

はじめに佐々木隆会長《㈱カクタ技建》より「微力ながら副会長をはじめ会員の皆さんのお力添えを得て、さまざまな行事を無事完遂することができた」と挨拶があり議事に入った。

平成26年度事業経過報告ならびに収支決算報告、および平成27年度事業計画ならびに収支予算が原案どおり可決され、続く役員改選では、鹿野雄久新会長《鹿野建設㈱》をはじめとする新体制が満場一致で承認された。鹿野新会長は挨拶の中で「我々はこれからの建設業の発展を担っていかなければならない立場であり、親会である（一社）宇都宮建設業協会の方々と意見を交換し、青年の会の存在意義についても協議をしながら執行部として見本となるよう努めるとともに、皆さんと切磋琢磨しながら頑張りたい」と抱負を述べた。また、会員はSMBC日興証券の司淳氏による「最近の内外政治経済情勢と市場の展望」と題する講演を受講した。

新会員として、大槌一浩氏《八幡建設㈱》が紹介された。  
(佐々木)



力強くあいさつする鹿野新会長

## 〔主な事業計画〕

- ① 宇都宮城址まつりへの参加・協力
- ② 宇都宮マラソン大会への協力
- ③ 他支部または異業種との交流や情報交換等の実施
- ④ 会員相互の親睦事業
- ⑤ その他（献血活動など）

|                  |                  |                 |                    |                  |                |                  |                 |                 |
|------------------|------------------|-----------------|--------------------|------------------|----------------|------------------|-----------------|-----------------|
| 会<br>計           | 会<br>計           | 幹<br>事          | 幹<br>事             | 会<br>長           | 幹<br>事         | 副<br>会<br>長      | 幹<br>事          | 幹<br>事          |
| 野中伸之助<br>(野中建設㈱) | 津野田 哲<br>(津野田土木) | 庭野 宏隆<br>(庭野建設) | 原 賢一郎<br>(アズマ原総業㈱) | 鹿野 雄久<br>(鹿野建設㈱) | 入江 克拓<br>(入江組) | 渡邊 幸雄<br>(中村土建㈱) | 入江 誠<br>(大幹建設㈱) | 田仲 重啓<br>(元重建設) |



## 沖縄旅行

2015.4.16 木～18土

4月16～18日宇都宮ではまだ肌寒さが残る中、宇都宮建設業協会・青年の会は沖縄研修旅行に旅立ちました。

旅行中3日間は快晴で気温も27度と夏日。4月15日は20度以下で肌寒く19日は雨だっただけに、担当委員の晴れ男ぶりが証明されました（笑）。一行は首里城、ひめゆりの塔、斎場御嶽など沖縄の歴史や建造物などを視察。首里城の真っ赤な城は琉球王朝が栄えた風格を感じ、ひめゆりの塔では沖縄県立第一高等女子高の教師と女子学生の凄惨な出来事が印象強く、恒久的な平和について会員一同深く考えさせられました。

懇親会では沖縄の郷土料理や泡盛などを堪能し、お店で演奏するリズムカルなエイサーでみんなが不慣れに踊りながら会員の絆を深めました。（荒井規）



マリンドブルーの海に感動しました



## 愛リバーとちぎ 河川清掃活動

## まちなかの清流を目指して!!

第48回 2015.3.25(水)

第49回 2015.5.27(水)



平成27年度「愛リバーとちぎ」河川清掃活動を3月25日および5月27日に実施しました。会員企業より20社ずつが参加し、6班体制で宇都宮市大通りの宮の橋を中心に1級河川田川西岸沿いの清掃を行いました。

宇都宮建設業協会の社会貢献活動の一環として、平成18年から始まった「愛リバーとちぎ」は今回で48・49回を数え、県と市町、地域住民、企業、ボランティア団体などが連携して快適な河川環境の維持向上を目的とする事業です。

今後も社会貢献活動を通じて、地域の建設業の役割を多くの方々に理解していただけるよう、関係各位ならびに会員企業の皆様には、引き続きご協力をお願い申し上げます。

(増淵)



## 「安全文化」を推進しよう！

2015.2.25(水)

### 第285回安全パトロール

2月25日、年明け最初となる公開パトロールが実施されました。

当日は、宇都宮労働基準監督署から、小林署長・古川安全衛生課長、発注者から、県土整備部大出副検査監、宇都宮土木事務所赤坂副主幹・佐野副主幹、宇都宮市鈴木検査室室長にご同行いただき、建災防安全指導者・店社安全管理責任者を含め、計37名が参加しました。パトロール前に、小林署長より「このパトロールは今回で第285回目と歴史があり、発注者、施工者合同の大変価値のあるパトロールである。インフラ整備等重要な役割を担う建設業において、この

パトロールが労働災害防止に寄与するよう期待する」とのご挨拶をいただきました。

パトロールは、昼食をはさみ土木3現場、建築1現場を巡視した後、宇建協に戻り講評という日程で行われました。講評では、「工事着手前の準備を万全にする」等の指摘もありましたが、「リスクアセスメントを用いたKY用紙が参考になった」「整理、整頓が行き届いていた」「各現場の良いところを自社の参考にしたい」という意見が出されました。

現場の安全はそこに携わる一人ひとりにかかっています。ご安全に！

(手塚)





新

社

長

紹

介



中村土建株式会社

代表取締役社長 渡邊 幸雄

みなさんこんにちは。平成27年1月1日より、約40年間社長を務めた先代社長（現会長）より社長業を後継させていただきました。

宇都宮建設業協会では総務委員会に長い間お世話になり、昨年度より建設委員会の副委員長を仰せつかっております。

1964年開催の東京オリンピックから半世紀以上が経ちました。開催の20年前まで東京は焼け野原であったことは誰もが知るところであります。日本の復興を国際社会にアピールする絶好の機会でもあり、何としても成功させなければならないオリンピック。その結果、東海道新幹線、東京モノレール、首都高速道路など社会資本整備が進み、その後の日本経済の起爆剤になったことは周知の事実です。また、戦後荒廃した国土の中で、他の産業に先駆けて動き出したのが建設業であります。自らの再編に苦しみながらも、戦後復興や成長の担い手としての役割を果たしてきました。

ところが、現在の建設業は、一昔前までは公共工事を

巡る不祥事や税金を財源とした公共工事への批判などが高まり、建設現場においては、いわゆる「3K」、劣悪な労働条件、低賃金、低学歴の就職先といった具合に挙げればきりがありません。しかし、近年では東日本大震災による復興事業への取り組みや、大手ゼネコン各社の広報活動などにより、業界に対するイメージは少しずつ向上してきています。それでも、就労者の現状をみると、55歳以上が30%を占めるといった高齢化の問題。また、入職者数はここ十数年の間に5分1にまで減少しています。今後の業界に対する危機感是非常に深刻な問題であり、緊急の課題であると私は思っています。今さらながらではありますが、弊社は、昨年度より、「魅力あふれる建設業へ！」を考え、地域の雇用確保、競争力の向上といった建設業のイメージアップを推進しています。地場の中小企業である我々の最大の責務と考えています。

東京オリンピックから50年。先人が築き上げた建設業というものを今一度見つめ直し、若者に「夢」「希望」「やりがい」を与え、子供から大人まで魅力あふれる建設業を伝えること。また、協力業者及び技術労働者の育成、外国人採用、後進への技術の継承等々、業界に関する様々な問題を解決していかなければならないと私自身感じています。まだまだ若輩者ではございますが、ご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 若人 youth わこうど

### 「座右の銘」

米弥工業株式会社 取締役 亀和田辰紀



この度、「けんせつ宇都宮」への寄稿の機会を頂戴いたしましてありがとうございます。米弥工業株式会社取締役を務めております、亀和田辰紀と申します。若輩者ではありますが、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

今回は、皆様も既に存じの方も多いとは思いますが、「どんなに悔いても過去は変わらない。どれほど心配したところで未来もどうなるものでもない。いま、現在に最善を尽くすことである。」という言葉をご紹介させていただきます。

この言葉は、経営の神様と呼ばれ、現パナソニックの創業者であり、戦後の1946年には、「物心両面の繁栄により、平和と幸福を実現していく」をモットーにPHP研究所を設立、また晩年には次代の国家指導者

を育成すべく、松下政経塾を立ち上げた方である松下幸之助氏の言葉であります。

この言葉は、自分に重なる点が多く、過去の行動について後悔したり、まだ起こってもいない未来を心配してしまうことが多々ありました。しかし、この言葉に出会ってから、将来のために今現在、目の前にあることを精一杯努力し、それを未来へとつなげていくと考えられるようになり、自分のいわゆる「座右の銘」となりました。

昨年より、宇都宮建設業青年の会に入会させていただき、また、宇都宮建設業協会総務委員の末席に加えていただき、先輩方のご指導ご鞭撻をいただいております。今後とも目の前にあることを一つ一つ精一杯努力してまいりますので、至らない点は多々あると思いますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 宇都宮建設業協会 歴代会長 栄誉ある受章

第二代会長 菊池 功氏

宇都宮建設業協会第二代会長を務められた菊池功氏が、平成26年秋の叙勲において中小企業振興功労により旭日小綬章の栄誉に輝いた。

菊池氏は(株)菊池組取締役会長としての職務に加え、栃木県暴力追放県民センター理事長としても活躍されている。また、栃木県建設業協会会長、栃木県生コンクリート工業組合理事長、栃木県中小企業団体中央会会長など数多くの役職を歴任されている。



## プロバスケットボールチーム リンク栃木ブレックス

けんせつ宇都宮をご覧の皆さん、こんにちは。リンク栃木ブレックス #0 田臥勇太です。いつもブレックスを応援していただきありがとうございます！

宇都宮に来て7シーズンが経ちました。

ファンの方はもちろん、街の人々もとても素晴らしく

快適にバスケットボールに打ち込めています。

コーヒーが大好きなので休みの日にはカフェを巡ったり、夕飯は近くの定食屋さんでチームメイトと食事をしたりしてリラックスしています。今後もリンク栃木ブレックスへのご声援よろしくお願いたします！



プロバスケットボールチーム  
リンク栃木ブレックス運営会社

株式会社 リンクスポーツエンターテインメント TEL028-637-8132 [www.linktochigibrex.com](http://www.linktochigibrex.com)



### BREX バスケットボール スクール

#### 宇都宮北・日光校

メイン会場：大沢体育館

U-10 [小1～小4](月) 19:15～20:45

U-14 [小5～中2](月) 19:15～20:45

#### 宇都宮中央校

メイン会場：ブレックスアリーナ宇都宮・  
栃木県体育館・栃木県総合教育センター

U-10 [小1～小4](木) 17:15～18:45

U-14 [小5～中2](木) 19:15～20:45

#### 宇都宮東校

メイン会場：BREX バスケットボールコート(清原工業団地内)

U-8 [年長～小2](金) 17:15～18:15

U-10 [小1～小4](火)/(日) 17:15～18:45

U-14 [小5～中2](火)/(日) 19:15～20:45

まずは  
無料体験  
から！

『無料体験』・『ご入会』の  
お申し込み、詳細は HP まで

## 編集後記

けんせつ宇都宮の編集後記を初めて担当することとなり、あれこれと頭を悩ませていたところ、大変なニュースが飛び込んできた。

ネパールの大地震である。

死者は既に数千人に達し、報道されていない部分も含め、被害はさらに拡大するだろう。

日本からの救助隊も首都カトマンズ入りし、救助活動を行っていた。彼らは列を作り、手作業でがれきを撤去していた。重機の投入も始まっているものの、その数が圧倒的に足りないのだ。

その一方でネパール政府は、外国の救助隊を「十分な人数の捜索・救助隊員がいる」として新規の受け入れ中止を表明してしまった。どう見ても十分とは思えないが、要は

受け入れられる限界を超えてしまっているようだ。

ネパールはアジアの最貧国とも言われていることと無関係ではないだろうが、震災の中で機能不全に陥っている現状を見ると、社会的なインフラ整備の重要性を改めて感じる。

異国の地でのこと故、自分たちではどうにもできないもどかしさを感じつつ、一日も早い復興を祈りたい。

一方、我々自身に目を向けると、東日本大震災の発生から既に4年が過ぎている。あの時の体験も少しずつ過去のことという意識になってはいないだろうか。

皆様も、我々「建設業」は災害や緊急時に出勤し、地域社会やインフラを守る存在なのだとことを忘れず、どうかこれからも災害への備えをしていただきたい。

(熊本)

けんせつ  
宇都宮

■1981年7月創刊  
■2015年6月10日発行  
■発行：一般社団法人宇都宮建設業協会  
■会長：増淵 薫

■編集：総務委員長 荒井 学  
■TEL：028-636-5221  
■URL：http://www.ukenkyo.org/  
■E-mail：ukenkyo@ukenkyo.org

■印刷所：藤崎印刷株式会社  
■TEL：028-633-4530  
■E-mail：info@fujisaki-p.jp

